

科目	トリミング演習	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	15	授業回数	8
担当教員	鈴木美穂	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		授業形態	演習		
担当教員	松波美穂	実務経験 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		授業形態	演習		
学習目標	1・2年次に習得した基礎知識を更に深く学び、グルーミングマニュアルで学習したスタンダードを考慮したカットが犬種ごとにでき、更にオリジナルカットやアロマオイルマッサージについても実習する。						
使用教材	モデル犬・グルーミングマニュアル						
評価基準	授業態度 学期末試験						
	テーマ	内容					
1	ビション・フリーゼ	グルーミングマニュアルを使用し、基本的なビション・フリーゼのシザリング技法を実際に行う					
2	アメリカン・コッカー・スパニエル	グルーミングマニュアルを使用し、基本的なアメリカン・コッカー・スパニエルのスイニングの順番、ポイント、カット技法を実際に行う					
3	プードル (イングリッシュ・サドル・クリップ)	長毛のブラッシング、ピンブラシの使い方、クリッパーの扱い保定の技術を見直しショークリップの基本工程を実際に行う					
4	プードル (コンチネンタル・クリップ)	長毛のブラッシング、ピンブラシの使い方、クリッパーの扱い保定の技術を見直しショークリップの基本工程を実際に行う					
5	東洋医学 (アロマ)	1.東洋医学とは何か 2.実際のモデル犬を使用し、マッサージ実習 3.オイルの効能について 4.パッドクリーム作り 5.実際のモデル犬で実施					
6	犬の被毛とシャンプー剤について	基礎的な皮膚や被毛について学び、その犬に合ったシャンプー剤を自分で選ぶことができる					
7	オリジナルカットのプードルの デザインカット①	個体や生活環境に合ったカットをお客様に提案できるよう実習する					
8	オリジナルカットのプードルの デザインカット②	デザイン画を作成、そのコンセプトを提案し、個体や生活環境に合ったカットをお客様に提案できるよう実習する					

科目	伴侶動物学・総合学習	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	5	授業回数	3
担当教員	鈴木美穂	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		授業形態	講義		
担当教員	松波美穂	実務経験 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		授業形態	講義		
学習目標	今まで習得した基礎知識を更に深く学び、また、犬種の皮膚や被毛の状態によって最適な用品を自分で選択できるよう学習する。						
使用教材	モデル犬・グルーミングマニュアル、問題集・配布資料 他						
評価基準	授業態度 学期末試験						
	テーマ	内容					
1	プードル (パジャマ・ダッチ・クリップ)	基本で学んだケネル&ラムクリップを基に、更にクリッピング箇所が増え、バンドの入る位置よってのバランスの違いをグルーミングマニュアルを使い学ぶ					
2	犬の被毛とシャンプー剤について①	基礎的な皮膚や被毛について学び、その犬に合ったシャンプー剤を自分で選ぶことができる					
3	犬の被毛とシャンプー剤について②	基礎的な皮膚や被毛について学び、その犬に合ったシャンプー剤を自分で選ぶことができる					

科目	社会学	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	15	授業回数	8	
担当教員	中川佳代子			実務経験 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	授業形態	講義		
学習目標	トリマーとしてのコミュニケーション学の基礎を中心に挨拶、返事の仕方、声の出し方、言葉遣い、身だしなみを学びます。また、仕事の進め方として重要とされている「ほうれんそう」「5W2H」についても学習。ペットショップを想定したロールプレイ式、実習を展開。飼い主の気持ちを理解し、信頼される社会人を目標に学ぶ。							
使用教材	配布資料							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ		マ		内			容
1	業界の特性・ルール②		信頼される社会人になるため接遇の知識を学び、社会のルール、業界での動向、店内でのコミュニケーションの必要性を学ぶ					
2	業界の特性・ルール③		信頼される社会人になるため接遇の知識を学び、社会のルール、業界での動向、店内でのコミュニケーションの必要性を学ぶ					
3	電話対応（基礎）①		信頼される社会人になるため接遇の知識を学び、ビジネス電話の対応、電話でのコミュニケーションの特性、正確・簡潔・丁寧を学ぶ					
4	電話対応（応用）①		信頼される社会人になるため接遇の知識を学び、ビジネス電話の対応、電話でのコミュニケーションの特性、正確・簡潔・丁寧を学ぶ					
5	接客マナー①		1.立ち方や笑顔の作り方、発声の仕方について 2.お辞儀の仕方（角度）や歩き方について 3.言葉遣い、電話の受け方や掛け方について					
5	接客マナー②		1.立ち方や笑顔の作り方、発声の仕方について 2.お辞儀の仕方（角度）や歩き方について 3.言葉遣い、電話の受け方や掛け方について					
7	接客マナー③		全ての総復習をロールプレイングで実施					
8	接客マナー④		全ての総復習をロールプレイングで実施					

科目	ハンドリング学科	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	15	授業回数	8	
担当教員	鈴木美穂			実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	授業形態	講義		
学習目標	ハンドリングの基本を理解し、ショーハンドリングを学ぶ。犬の基本的な見せ方、審査員との距離感を理解する							
使用教材	ハンドリングマニュアル							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ		マ		内			容
1	リードの扱い・犬の扱い②		リードの持ち方と確実に犬のアゴ下にリードをかける手技を学ぶ。リードのかけ方、持ち方で犬の反応が変わることを理解する。					
2	リードの扱い・犬の扱い③		リードワークを理解したうえで実際の歩様を見学する。					
3	人と犬の歩行①		人が犬の歩行を先導する方法を学び、より良い歩様を考察する。					
4	人と犬の歩行②		犬の歩行、静止を学ぶ。人が先導し犬を歩行させ、人が止めたいと思う所で静止させる方法を理解する。					
5	人と犬の歩行③		リンク全体の位置関係を把握する。会場の大きさや、地面の状況を見極める判断力を養う。					
6	人と犬の歩行④		人と犬の歩様を理解する。他者のハンドリングにも注目し、客観的な見え方を考察。自分のハンドリングを深究する。					
7	人と犬の歩行⑤		ハンドリング審査一連の流れを知る。審査手順、全犬歩行整列、触審、個体歩行の一連の動きを理解する。					
8	人と犬の歩行⑥		ハンドリング審査一連の流れを知る。大型犬での一連の動きを理解する。					

科目	ハンドリング実習	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	15	授業回数	8	
担当教員	鈴木美穂			実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	授業形態	実技		
学習目標	その犬の持つ最も正しい立ち姿勢を理解し、スタックさせる技術を修得する。また、その犬の持つ最も良い歩様を理解し、正しく歩かせる技術を修得する。							
使用教材	ハンドリングマニュアル							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ		マ		内			容
1	ショーハンドリングの実践練習⑨		初心に戻り、犬と一緒に歩き、犬の気持ちを考える。実践前の基礎を再度確認する。					
2	ショーハンドリングの実践練習⑩		ハンドラーをしての立ち振る舞いを再度確認する。					
3	ショーハンドリングの実践練習⑪		歩行速度、リードの使い方により犬の歩様が変化することを学ぶ。また、適切なリードワークを理解する。					
4	ショーハンドリングの実践練習⑫		ハンドリング競技会形式で実習。各自のハンドリング技術を評価し、改善点を明確にする。					
5	ショーハンドリングの実践練習⑬		各自の改善点を中心に克服する方法を考察、練習する。					
6	ショーハンドリングの実践練習⑭		J K C公認ハンドラーC級ライセンス資格の合格基準に到達するように練習を重ねる。					
7	ショーハンドリングの実践練習⑮		ハンドリング試験の全体の流れを再度確認する。					
8	ショーハンドリングの実践練習⑯		各自のハンドリング技術を発揮させ、犬とハンドラーが一体となるショーハンドリングを修得する。					

科目	トリミング実習	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	420	授業回数	210	
担当教員	鈴木美穂			実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	授業形態	実技		
学習目標	ショークリップの洗練さをタイプの違う実習犬で追求し、ドッグショー出陳までのコンディション作りを学び、アレンジカットのバリエーションを増やす							
使用教材	実習犬・グルーミングマニュアル・道具一式							
評価基準	授業態度 技術習得度							
	テ		マ		内			容
1	ショークリップ・ペットクリップ		タイプの違う実習犬のお手入れや、長所・短所を知りカバーしてカットする・作業効率を上げる					
2	ショークリップ・ペットクリップ		ドッグショー参加にあたり、最前のコート管理とコンディションを整える・ペットカットのスキルアップ					
3	ドッグショー参加へのスキルアップ ・ショーマナー		ドッグショー参加にあたり、静止した状態だけでなく、動いた時でも完成度が変わらないよう追求する					
4	ショークリップ全体のバランス ・ペットクリップ		最終予選のラストカットに向かってシャンピング、ブローなどのスキルを高め、仕上りの美しさを最大限表現できる					
5	ショークリップ・ペットクリップの応用		試験を想定して繰り返し練習し、完成度の安定を目指す					
6	ショークリップ、ペットクリップの洗練		即戦力を目指し、トリミング技術の最終調整					